



# べこげんき

## 稲発酵粗飼料用稲

東北地域で早生・多収

- ◆栽培適地は、東北地域中部です。
- ◆直播栽培でも早期に収穫でき、食用品種と作業が競合しません。
- ◆穂や茎葉を含む地上部全体の乾物重が多く、稲発酵粗飼料（サイレージ）に適しています。
- ◆多肥の直播栽培でもほとんど倒れません。



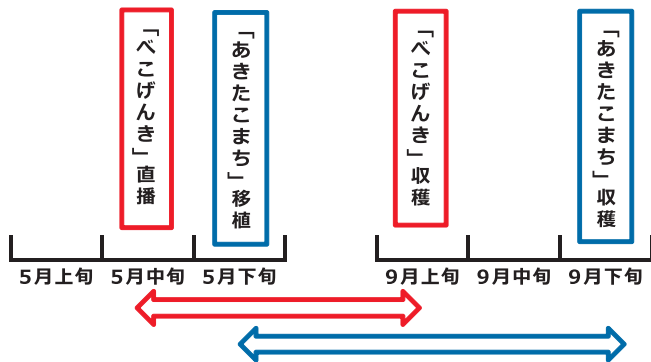
## 育成のねらい

我が国では、水稻の穂及び茎葉をまとめて収穫し発酵粗飼料（サイレージ）にして畜産農家が利用する耕畜連携の取組みが奨励されています。稲発酵粗飼料用品種では、黄熟期の地上部全体の乾物収量が多いことが必要となります。また、農作業の競合を回避するためには、食用品種の移植前に直播栽培できることや食用品種の収穫前に黄熟期収穫できることが求められます。

そこで、直播栽培でも早期に収穫できる稲発酵粗飼料に適した新品種「べこげんき」を育成しました。

## 作業体系

早生で、倒伏に強く、直播栽培にも適しているため、食用品種との作業競合を回避できます。



## 栽培特性

栽培条件	多肥移植栽培		多肥直播栽培	
	べこげんき	べこごのみ	べこげんき	べこごのみ
品種名	べこげんき	べこごのみ	べこげんき	べこごのみ
出穂期	7月27日	7月25日	8月5日	8月1日
黄熟期	8月29日	8月26日	9月8日	9月5日
成熟期	9月8日	9月8日	-	-
稈長 (cm)	88	88	89	87
穂数(本/㎡)	315	341	348	360
耐倒伏性	かなり強	強	かなり強	強
倒伏程度(0-5)	0	1.6	0.8	1.5
耐冷性	やや弱	弱	-	-
いもち病抵抗性遺伝子	<i>Pla</i> 、 <i>Pib</i>	<i>Plk</i> 、 <i>Pib</i>	-	-
全乾物重 (kg/a)	150	140	155	147
TDN 含量 (%)	60.1	58.8	59.3	59.6
粗玄米収量 (kg/a)	73.9	74.5	-	-
玄米千粒重 (g)	26.0	22.3	-	-
玄米品質	中下	下上	-	-

「べこげんき」の交配組合せ：羽系飼864／青系飼161号（後の「うしゆたか」）  
育成地（秋田県大仙市）における試験成績（2009～2013年）。

### 《種子入手先》

農研機構東北農業研究センター 企画管理部 業務推進室 運営チーム  
電話.019-643-3443 FAX.019-643-3405

### 《利用許諾に関するお問い合わせ先》

農研機構 連携普及部 知財・連携調整課 種苗係  
〒305-8517 茨城県つくば市観音台3-1-1 電話.029-838-7390 FAX.029-838-8905

## 栽培上の留意点

- ・耐冷性が強くないので、冷害の常襲地帯では減収する可能性があります。
- ・いもち病の真性抵抗性遺伝子を保有しますが、病原菌レースの変化によりいもち病の多発が予想される場合は、薬剤防除を行ってください。
- ・白葉枯病や縞葉枯病に弱いので、これらの病気の多発地帯での栽培は避けてください。



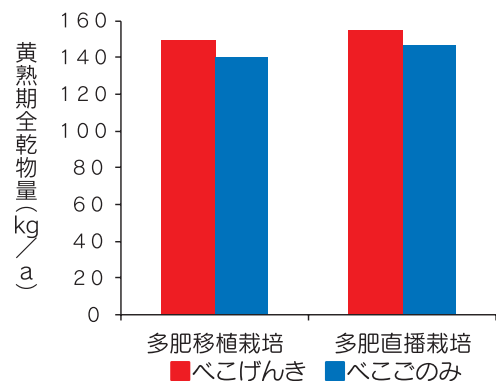
▲べこごのみ ▲べこげんき  
(多肥移植栽培 黄熟期、2013年8月29日)



▲べこげんき ▲あきたこまち  
玄米の粒は、やや大きく、白濁部分が多いので、食用品種と容易に識別できます。

## 黄熟期全乾物量

稲発酵粗飼料用の標準品種である「べこごのみ」と比べて、移植・直播のいずれにおいても多収です。



品種に関するお問い合わせは

農研機構東北農業研究センター 企画管理部 情報広報課まで

〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4

電話.019-643-3414 FAX.019-643-3588

メール.www-tohoku@naro.affrc.go.jp http://www.naro.affrc.go.jp/tarc/

東北農研

検索